

電気自動車に乗ってみました

(株)木のくに屋
本西 宏行

車が好きな私にとって、将来の車社会がどうなるのか？

興味津々の思いから、電気自動車 (EV) を購入し乗ってみました。

さて、その実用性は…。

世界各国の政府が環境問題を理由に、近い将来エンジン車の販売を禁止するとの報道が続いています。

大気汚染・石油エネルギー枯渇・地球温暖化が政治問題化し「本当に可能なのか？」の論議は、政府や自動車メーカーにお任せするとして、ユーザーの我々はどうするのでしょうか？

エンジン車をEVに移行するには日本の総電力量がまるで足りず、主に火力発電に頼っている現状では、決してECOではないのですが…。

それでも代替車として最有力に祭り上げられたEV業界は今バブルが起きているようで、かく言う私もそれに乗せられた一人でした。(笑)

さて、現時点での話題のEVの実力です…。

一番話題となる航続距離ですが、上手に乗って概ね公称(カタログ値)の60%程度が実状のようです。(400kmと謳っていれば、240km前後)

だって、寒い暑い日以外にも雨は降るし夜も動かしますし、カタログどおり常に一人乗りとは限りません。(重いゴルフバックを積むなんてもっての外) エアコン・ワイパー・ライト等全てエネルギー源はバッテリーの電気なので、使用すれば走行距離とのトレードオフとなり、走れる距離は縮まります。

次によく聞かれる充電時間ですが、家庭用200V・3kW(15A)の充電で実走行距離1km当たり約4分かかります。

私の車は実走行距離200kmなので13時間でフル充電できますが、公称600km(実走360km)走れる1,000万円超級の某社の車なら24時間！

急速充電も出来ますが(実は新木場にも某所に急速充電器が設置されています)急速に充電するとバッテリーも急速に劣化し、航続距離は5年で70%以下まで落ちます。(この劣化問題がEVの下取り価格が10万円程度になってしまう元凶です)

やはり、なるべく緊急時以外に急速充電は使わないほうが得策のようです。

航続距離を延ばすため新型車が発表されるたびEVはバッテリー容量を増やしていく傾向ですが、充電設備（家庭用）が追いついていきません。

今後は、家庭用200V・6kW（30A）の倍速充電の普及を考えているようです。

ただ、6kW（30A）で充電するためには30A×2倍（ピーク電圧用）+生活電力60Aの120Aの電気容量が必要で、3kW（15A）に対して単位電力当たり基本料金が倍近くなり結果として普段の生活電気代までも上がってしまいます。

ここで皆さん、考えてみて下さい。

エンジン車の場合、燃料エンプティランプが点灯してからおおよそ50km程度走れると言われていきます。「早く給油しなくては…」と気が気ではなくなりますか？

また、人によっては燃料計が1/4を切ったら給油しなければ、気が済まない方もいらっしゃると思います。

エンジン車は万一ガス欠しても給油すればすぐ動けますが、EVは電欠すると充電設備までレッカー車牽引で運んで充電完了を待たなければなりません。EVはその航続距離から常にフル充電状態にしておきたくなりますが、頻繁に充電するとバッテリーの寿命を縮めます。（スマホと一緒に電池の寿命は充電回数です）

今回お世話になった、某ディーラーの営業マンとEV販売に際して忌憚のない意見交換をしたところ

1. 車庫併設の戸建住宅のお住まい
2. 用途に合わせて、車は複数台を所有
3. 200V 3kW（15A）の充電設備設置（スマート電力契約）
4. 性格的におおらかな人？

を、購入の条件に挙げられました。

私：「売れないでしょう？」

営業マン：「買える方いないでしょう…。」

最後に、EVの乗り味ですが

「楽しいか？」

「面白いか？」

と聞かれると、今の車好きには受け入れがたいかと。

私もエンジン車の方が大好きです！

しかし、パソコンやスマホが急速に普及した時代の流れを考えると…。

【The future is electric.】

【未来は電気にある。】

あの静かな移動空間を、一度経験してしまうと
もうエンジン音のする車には、戻れないのかも？知れません。

☆追記☆

次世代車としてEV以外にも色々な候補が挙がっています。

PHV (短距離EV + 電欠後は普通のハイブリット車) を6年前から社用で運用していますが、現在において各国の法規制に対しては一番現実的だと思います。

FCV (燃料電池車) も新木場なら、5km半径に3ヵ所も水素ステーションがあり、補助金も200万円近く出るので検討に値すると思います。

物流トラックなどの大型車はEV化が難しいようなので、FCVの方向に向かうそうです。(燃料電池バスは既に実用化されて湾岸地区でテスト中です)



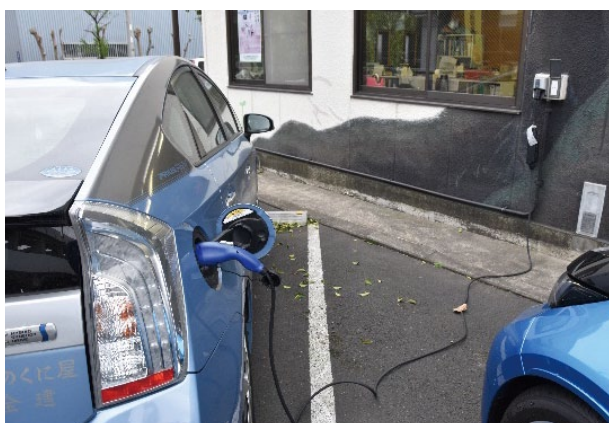
電気自動車 (EV)



屋外充電ポートでの充電
～コードの長さは7m～



200V普通充電口
～当然エンジンは無し～



外出準備で充電中
～90分で20km走行可～



車種によって違う充電口の設置位置



EV用200V受電コンセント